

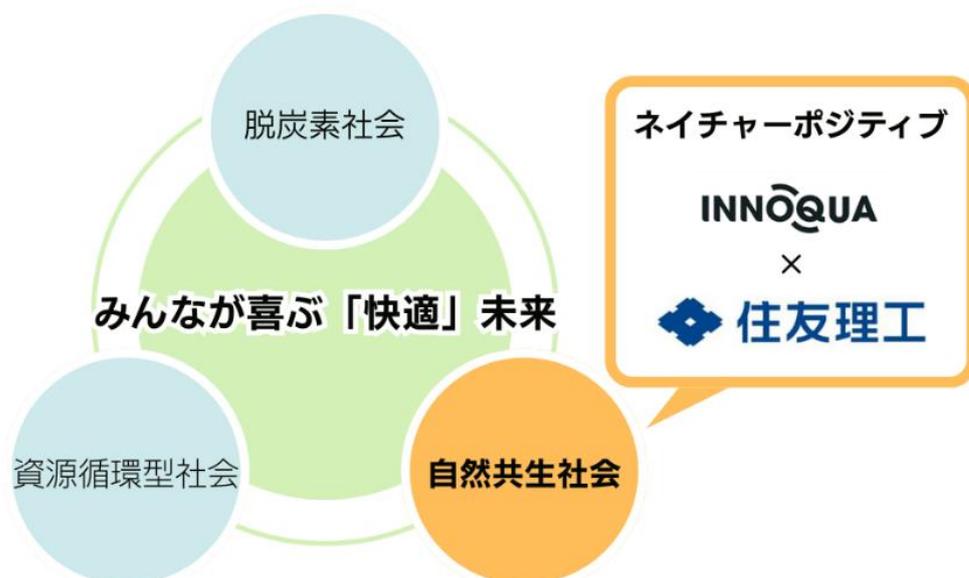
住友理工とイノカ、 自然共生社会の実現に向けた協業を開始

～ネイチャーポジティブ推進に向け、海洋領域での新規事業の創出～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、人工的にサンゴ礁などの海洋生態系を陸上に再現できる「環境移送技術^{®※1}」を有するベンチャー企業、株式会社イノカ（本社：東京都港区、代表者：高倉葉太、以下「イノカ」）との協業を開始したことをお知らせいたします。

INNÔQUA **住友理工**

住友理工グループは、「住友理工 環境長期ビジョン 2050」において、自然資源や自然環境を事業活動によって破壊することなく、後世に引き継いでいく責任があることを認識し、「脱炭素社会（カーボンニュートラル）」や「資源循環型社会（サーキュラーエコノミー）」「自然共生社会」の実現に貢献することを掲げています。今回の協業は、自然共生社会の実現に向け、イノカとともに当社の技術や素材の海洋領域への展開可能性を探索し、社会課題の解決やネイチャーポジティブ^{※2}（自然再興）推進に向けた新規事業の創出を目指します。



※「住友理工の環境長期ビジョン 2050（概念図）」より引用

■ 協業の背景と目的

地表の約 7 割を占める海洋は、海水温の上昇や酸性化、プラスチックごみの増加といった影響によってサンゴ礁の死滅や磯焼け、漁獲量の減少など様々な課題が深刻化しています。このような課題を解決するため、海洋環境の保全と持続可能な活用に貢献できる技術開発が求められています。

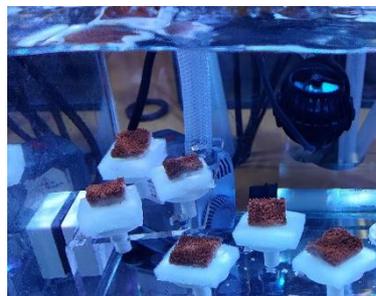
当社はコアコンピタンスである「高分子材料技術」「総合評価技術」を起点に、「自動車（モビリティ）」「インフラ・住環境」「エレクトロニクス」「ヘルスケア」など多様な領域で社会課題の解決に取り組んできました。今回の協業を機に、新たに海洋領域への当社の技術や素材の展開可能性を探索し、持続可能な社会の実現、ネイチャーポジティブ推進に向けて取り組んでまいります。

■ 今後の取り組み

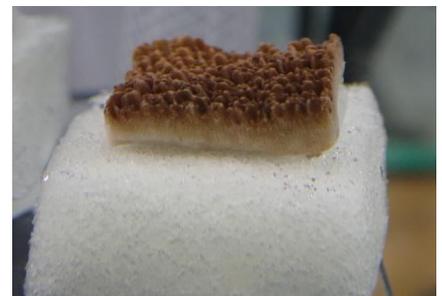
現在、当社とイノカは、イノカの実験環境を有効活用して、当社素材の基礎評価に着手しています。今後、実施する各種実験データをもとに海洋領域に適応できる独自素材を開発し、新製品への展開を目指します。また、当社はイノカが主催する「三河湾渚フォーラム」に2025年3月より参画しており、海洋領域における様々なパートナーとオープンイノベーションを推進し、活動を加速させていきます。



イノカの評価系イメージ



ウスコモンサンゴを用いた当社素材の評価の様子



住友理工グループは、経営ビジョン「2029年 住友理工グループ Vision」で掲げている「自然と都市と人の空間が繋がる グリーンで快適な社会」を実現するため、社内外の連携による価値共創を通じて、スピーディかつダイナミックに解決へと繋げ続ける集団を目指しています。今後も、ベンチャー企業をはじめとした社外との連携・共創を一層強化し、既存事業領域の深化に加え、事業部門の枠を超えた新事業・新製品の創出等、社会課題の解決に向けた新たな価値の創出に取り組んでまいります。

<住友理工 サステナビリティサイト>

<https://www.sumitomoriko.co.jp/sustainability/>

<株式会社イノカについて>

<https://corp.innoqua.jp/>

株式会社イノカは、2019年創業の自然環境の総合的プロフェッショナル集団です。サンゴやマングローブ、海藻などの海洋生物から、ゲンゴロウやメダカなどの淡水生物まで、水圏の生態専門家を中心に、大学教授をはじめとする自然科学の研究者、そして環境ビジネスの専門家が在籍しています。「人類の選択肢を増やし、人も自然も栄える世界をつくる」というミッションを掲げ、産官学と連携し、共に持続可能な豊かな地球を目指し、自然関連の新規事業創出を行っています。イノカは様々なバックグラウンドの人材が在籍しておりますが、一つの共通項があります。それは「全員、自然や生き物が好きということ。自分たちが好きな自然をみつづける」というフィロソフィーのもと、一人一人が自分が好きな自然や生き物をもっと探究したい、そして未来に繋がりたいという想いを持って活動しております。



イノカが環境移送技術により人工的に再現したサンゴ

<三河湾渚シンポジウムについて>

<https://corp.innoqua.jp/tank/articles/cqwsws9iv8zt>

以上

※1 「環境移送技術」は、株式会社イノカの登録商標です。

※2 ネイチャーポジティブとは、生物多様性や自然資本の損失を止めるだけでなく、積極的に回復・再生していく取り組みで、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーに並んで社会課題の解決に向けた新たなアプローチとして注目されています。

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制震音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>